



建設業の新分野への 進出を指南

よねだ まさこ
米田 雅子
(東京都文京区)



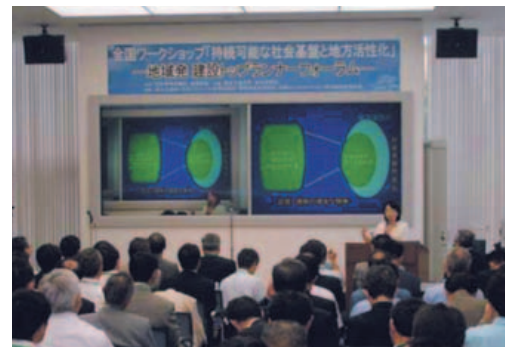
●受賞者紹介

慶應義塾大学工学部教授

昭和31年、山口県柳井市生まれ。平成2年、建築技術の調査研究会社「有限会社ジェム」を設立。平成10年、特定非営利活動法人建築技術支援協会常務理事。平成19年4月、慶應義塾大学工学部教授に就任。平成19年1月より内閣府規制改革会議委員を務める。

●活動状況

公共事業費削減の中で、建設業者の生き残り策を探している。全国各地をまわり、現地調査や講演を行いながら、建設産業、国土建設、地方活性化に関わる研究、論評、支援活動を続けてきた。「建設業からはじまる地域ビジネス」(ぎょうせい)、「建設帰農のすすめ」(中央公論)など多数の著書がある。



全国各地で講演

●主な特徴

米田氏は、「建設市場はまだ縮小する。先細りする公共事業に頼らない生き方を」と説き、建設業の新分野進出、特に農林水産業への進出について提言している。全国各地で、建設関係者の新分野進出への相談に対してアドバイスする等、親身な対応を行っている。

また、農業、建設業、商工業等の地場産業が、業種の壁を越えて、自由な発想で、力を合わせて地方の活性化を推進できるよう、これまでの業種ごとの規制を改革し、日本全体が元気になる環境づくりに励むことが大切であると主張している。特に、地方の建設会社が多角化することで生き残り、地域ビジネスを興しながら、同時に社会基盤を担うことが「持続可能な社会基盤と地方活性化」につながると述べている。

平成18年には、「建設トップランナーフォーラム」を立ち上げ、新分野進出や地域活性化に挑戦する建設業者の支援を行っている。



建設トップランナーフォーラム会議風景
(日経コンストラクションより、新聞雅士氏撮影)